

# マルチチャンネルオーディオの研究



大学院理工学研究部(工学)  
教授 安藤 彰男

## 研究分野

Research area

## 工学／電気電子工学／通信・ネットワーク工学

研究のキーワード > 信号処理、符号化、音響工学、音響情報処理

## 研究内容

Research content

スーパーハイビジョンや立体テレビなどの高臨場感映像に適した音響方式としてマルチチャンネルオーディオ(MCA)があり、ITU-R、IEC、MPEGなどで標準化が進められている。MCAの信号伝送フォーマットや、家庭に適した再生方式はまだ定まっていないため、有効な方式を開発すれば、ビジネスチャンスにつながる可能性がある。本研究では、MCAの符号化や家庭再生方式の開発を進める。

## 研究のポイント

Research point

- 限られたスピーカ数、スピーカ配置のためのマルチチャンネルオーディオ再生方式の開発
- テレビの枠部分に設置したスピーカアレイによるマルチチャンネルオーディオの再生方式の開発
- 様々な再生方式に応じた、マルチチャンネルオーディオ符号化方式の開発

## 産学連携への取組、期待

前職(NHK放送技術研究所)において、音響関係で28件特許を取得した。産学連携でも積極的に発明考案を行い、共願での出願を行う。

少ないスピーカ数でのマルチチャンネルオーディオ再生について、2010年NHK技研公開(来場者数22,000人)で展示し好評を博した。

MPEGにおいて標準化活動に従事し、MPEG-4 AACを用いた2.2チャンネル信号の符号化方式の国際標準化、MPEG-H 3D Audioの立ち上げに貢献した。

## 研究 REPORT

